令和７年度（２０２５年度）
社会福祉法人いなほ福祉会　放デイほたる　事業報告

１．利用登録者数と利用実績（令和７年３月予末）

【利用登録者数】　　２１名

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	23	21	23	24	18	22	24	20	23	20	20	23	261 日
延利用人数	163	135	151	169	141	142	171	133	175	151	144	157	1,832 人
1日平均	7.0	6.4	6.5	7.0	7.8	6.4	7.1	6.7	7.6	7.6	7.2	6.8	7.0 人

令和６年度　延利用人数　1838 人　１日平均　7.0 人

【送迎利用実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延利用人数	282	250	268	284	198	254	305	233	295	268	253	257	3,147 人

令和６年度　延利用人数　3,164 人

【個別療育登録者数】　　４名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延利用人数	2	2	7	5	11	6	5	5	5	4	6	3	61 人

令和６年度　延利用人数　28 人

２．職員体制

職　種	定数	現員
管理者	１名	１名（常勤・兼務）
児童発達支援管理責任者	１名	１名（常勤・兼務）
保育士または 児童指導員	２名 （１名常勤）	２名（常勤・専従１名） （非常勤・専従１名） １名（非常勤・専従１名）
機能訓練担当職員		３名（非常勤・専従）
合　計	４名	７名

３．今年度の重点方針

①人材の育成・確保を行い、職員集団を構築します

新しい職員が配置されましたので、放デイほたるが大切にしている実践の意味や目的・目標を丁寧に伝え、同じ思いで実践を組み立てる職員集団の構築に努めました。また安定的な運営を行うための人材確保として、地域のイベントや就職フェアに参加する等の取り組みを行いました。人員の確保には至っていないものの、事業所の認知度の向上には繋がっていると感じますので、法人及び職場の魅力を広く紹介する機会をもうける等、人材確保の取り組みを今後も行っていきます。

②福祉職員および児童分野職員としての専門性の向上に努めます

今年度も計画的な法人研修と児童分野の研修を通じて、福祉職員および児童分野職員としての専門性の向上に努めました。新人職員も配置され同じ学習を共に学ぶ中で、共通認識としての理解を深めることができました。放デイの事業は学齢期の子どもの発達段階と実年齢のギャップの差が大きくなってくることから、子どもを正しく捉えるところでの難しさがあります。発達の学びと共に障がい特性についての理解も深めることで、放デイ職員としての専門性の向上に努めました。

また、子ども達の活動や遊びの幅を広げていく為に、まず職員がスポーツや遊びの情報を取り入れる事を意識しました。夏には地域の自然を思い切り楽しむ『滝遊び』を中高校生と保護者の取り組みで行い、パラリンピックの正式種目である『ボッチャ』の体験、また小学生は保護者と共に『オペラシアター』の観劇等、地域の情報を取り入れながら、子どもだけでなく保護者も含めて楽しい経験を広げる取り組みができました。

③アセスメントシートを新しく作成します

令和７年度前半に様々なアセスメントシートを自分たちで考えたり、調べたりする中で、小学１年生から高校３年生まで網羅できる可能性のあるシートにたどり着き、年度後半から新しいアセスメントシートを使用して、放デイの子ども全員のアセスメントを行いました。

実際にアセスメントシートを使用して評価を行ったことで、客観的な視点を取り入れることができ、職員の子どもを見る視点がこれまでより細かくなり、子どもの理解が深まったように感じています。またアセスメント項目を意識した遊びを活動に取り入れることで、ほたるの活動の幅も広がりました。

特別支援学校のアセスメント評価としても使用しているアセスメントシートであることがわかりましたので、放デイほたるのアセスメントシートとして今後も活用していきます。

④高校を卒業した後の生活に見通しがもてるような保護者支援を行います

放デイは小学生から高校生まで最長では１２年間所属するので、１年で完結する学習会ではなく数年かけて、福祉制度や社会資源、障がいのある方の就労、成人期の余暇活動などについて学ぶ機会を保障していきたい、また保護者が参加したくなる学習会を開催したいと考え、今年度は子ども達の学校卒業後の生活をイメージし、本人と家族が進路選択をしていくために必要な保護者支援として『いなほ福祉会』の成人分野の管理者に事業所の説明を行っていただくと共に施設見学をさせていただきました。

実際の現場や様子を見る中で、机上の学習会だけでは得られない貴重な機会となり、参加した保護者からの評判も良く「また参加したい」との声もきかれました。

４．保護者懇談会・学習会の実績報告

日程		内 容・講 師
６月２４日（火）	学習会	いなほ福祉会　成人事業所巡り （ワークショップゆう・いなほ作業所・いなほのパン屋さん・平見ハイツ）
１０月　３日（金）	懇談会	来年度からの利用日数制限について・活動報告・懇談会
２月１３日（金）	懇談会	来年度開始の土曜日の事業について・活動報告・懇談会

５．緊急時の対応

緊急時の対応はありませんでした。

６．事故発生時の対応

事故の発生はありませんでした。

７．虐待および身体拘束発生状況

身体拘束説明書・同意書作成　　０名

【虐待案件】　　０件

【身体拘束発生案件】０件

８．苦情解決実績報告

苦情の対応はありませんでした。

９．職員（援助者）の援助技術の向上

（１）職員会議の実績報告

・職員会議	→	１２回開催
・個別支援会議	→	９回開催
・モニタリング会議	→	１０回開催

（２）職員研修の実績報告

【内部研修】

日　程	主　催	研修内容	講　師	参加人数
５月３１日	いなほ福祉会	虐待防止・権利擁護研修	法人職員	４名
６月２０日	放デイほたる	救命救急講習	紀宝消防職員１名	４名
７月２６日	通園くじら	～乳幼児期の発達のみちすじを知る～ 発達の連続講座①	児童発達支援センター つくしんぼ園 発達相談員　山本翔太氏	３名
８月３０日	いなほ福祉会	通園めだかについて知ろう	通園めだか職員	４名
１１月２２日	通園くじら	～乳幼児期の発達のみちすじを知る～ 発達の連続講座②	児童発達支援センター つくしんぼ園 発達相談員　山本翔太氏	３名
１月１６日	いなほ福祉会	災害時の医療について	相野谷診療所 所長　森本　真之助氏	１名
１月３１日	いなほ福祉会	障害者福祉制度について 災害時のエリア別ミーティング	相談支援事業所ヴィータ 前　邦朋氏 法人職員	３名
２月１７日	いなほ福祉会	生きにくさと周囲の理解と支援 発達に凸凹のある子ども、そして大人の支援	エンジョイウェルヴィレッジセンター長 志村　浩二氏	３名

【外部研修】

日　程	主　催	研修内容	講師等	参加人数
７月　３日	発達支援部会	子どもの構音障害・吃音	通園めだか 福田　尚子 ST	３名
８月　８日	かがやき特別支援学校	かがやき講座 発達障がいにおける教科指導・支	あすなろ分校教員	１名

		援について 医療と教育の連携	三重県立子ども心身発達医療センター 樫谷　圭氏 末吉　信夫氏	
１１月２７日 ～２８日	三重県	サービス管理責任者・児童発達管理責任者更新研修	講師多数	１名
３月　６日	発達支援部会	様々な精神障害を抱えた保護者の理解と対応	ｴﾝｼﾞｮｲｳｪﾙｳﾞｨﾚｯｼﾞｾﾝﾀｰ長 志村　浩二先生	３名

１０．年間行事

日　程	内　容
３月２４日（月）～　４月　７日（月）	春の長期休暇活動期間
７月２２日（火）～　８月２９日（金）	夏の長期休暇活動期間
８月　２日（土）	夏の取り組み(小学生)　夏まつり
８月　９日（土）	夏の取り組み（中高生）川遊び部・滝遊び
１２月　６日（土）	クリスマス会（小学生）オペラシアター観劇
１２月２０日（土）	クリスマス会（中高生）キラフェス
１２月２４日（火）～　１月　７日（火）	冬の長期休暇活動期間
３月　７日（土）	卒業おめでとう会
３月２３日（月）～　４月　７日（火）	春の長期長期休暇活動期間